



消防千葉

2022 No.586 令和4年2・3月号

目次

巻頭言（佐倉市八街市酒々井町消防組合消防長）	2
令和4年新春消防出初式	3・4
令和4年度消防防災科学技術賞の作品募集	5
全国消防操法大会操法実技の一部見直し	6・7
令和3年度叙勲・褒章名簿	8・9
東西南北	10～13
日々の動き	14



松戸神社（松戸市）東葛飾支部

巻 頭 言

「新たな時代への挑戦」

佐倉市八街市酒々井町消防組合 消防長 渡邊 敏行



令和4年10月29日（土）に千葉県消防学校において「第29回全国消防操法大会」の開催が決定しました。本来であれば、令和2年に開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、2年間の延期となってしまいました。

現在も、収束が見通せない状況ではありますが、ぜひ、千葉県で初めての全国大会が開催されることを望んでいます。

操法大会のあり方については、令和3年8月「消防団員の処遇等に関する検討会」の報告書で「全国消防操法大会については、主催者のひとつである（公財）日本消防協会が中心となって、具体的な操法の内容について、パフォーマンス的な動作、セレモニー的な動作については見直すという方向で検討を始めることとしている。」とされています。

（公財）日本消防協会では「全国消防操法大会実技等に関する検討会」を開催し、操法訓練が「安全」「確実」「迅速」な現場活動を実施するための基本として協議を行いました。

私は、平成9年度から2年間（財）日本消防協会業務部に派遣され、男性・女性の全国消防操法大会の事務局と令和元年度まで全国女性消防操法大会の審査員を努めたことから、検討会の委員として参加をさせていただきました。

すでに（公財）千葉県消防協会から「全国消防操法大会実技の一部見直しについて」の通知がされていますが、主な変更としては「集まれ」が省略され、審査については「操作始め」からとなりました。「集まれ」については「消防訓練礼式の基準」の基本動作ではありますが「現場活動には必ずしも直結しない、いわゆるパフォーマンス的な、あるいはセレモニー的な動作」として省略することになりました。

検討会開催前に、（公財）日本消防協会が全国の消防団に対して実施したアンケート結果を見せていただき、回答の中には、操法大会に対する意見もありましたが、全国大会を経験した私としては、操法大会に参加することで多くのメリットもあると感じています。

「消防団員の処遇等に関する検討会」の報告書では、はじめに「消防団員数の減少が危機的な状況になっている。」と始まっています。

消防団員に対しての「年額報酬」「出動手当」など報酬等の処遇改善の見直しも重要な検討課題ではありますが、消防団員を確保するためには「消防団員のステータスの向上」に向けた取り組みも必要ではないでしょうか。

全国消防操法大会についても、昭和43年から多くの関係者、先輩方により継続し開催されている中で、今年は現場活動に則った実技の一部見直しが行われます。

良き伝統を継続し、新たなことを取り入れる。まさに消防団の「新たな時代への挑戦」を、ここ千葉から始まることに大きな期待をしています。

がんばれ！ 千葉県消防団！！

令和4年新春を迎え 新型コロナ禍での消防出初式開催

令和4年の新春を迎え、恒例の消防出初式が1月6日（木）の鴨川市を皮切りに2月6日（日）の成田市までの間、県下48消防団のうち32消防団において消防職・団員をはじめ消防関係者参加のもと執り行われました。

消防出初式は、新しい年を迎え、消防職・団員が地域の安全・安心を守る職責の自覚を新たにし、防火・防災に対する消防人の心意気を示すとともに、地域住民の防災意識を高めるために毎年実施しているものです。

しかし、令和2年に日本で初めて感染が確認された新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年の消防出初式はすべての消防団で中止となりました。

その後も新たな変異株が次々に現れるなど、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、令和4年の消防出初式は、昨年中に不開催とした4団体に加え、年が改まってからも1月5日（水）に開催を予定していた勝浦市をはじめ11団体が中止となり、さらに1月16日（日）未明に発令された「津波注意報」により、館山市でも中止となりました。開催した団体でも、人員、器具の点検、パレードや分列行進を取りやめるなど、多くの団体が規模を縮小して行われました。

また、長年功労のあった消防職・団員の表彰等においても、多くの団体が来賓の参加を取りやめ、関係者で行われました。

開催された消防出初式の様子を写真により一部紹介します。

☆南房総市消防出初式 1月8日（土）



入場行進

☆千葉市消防出初式 1月8日(土)



石橋消防協会長祝辞



部隊観閲



分列行進



消防演技

☆浦安市消防出初式 1月9日(日)



少年消防団



☆神崎町消防出初式 1月10日(月祝)



受章者代表謝辞



石橋消防協会長祝辞

令和4年度消防防災科学技術賞の作品募集

消防研究センター

消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学に関する論文及び原因調査に関する事例報告の分野において、優れた業績をあげた等の個人又は団体を消防庁長官が表彰することにより、消防防災科学技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的として、「令和4年度 消防防災科学技術賞」の作品募集をいたします。皆様の一層のご応募をお待ちいたしております。

詳細は、消防研究センターホームページ (<http://nrifd.fdma.go.jp>) をご覧ください。

【応募区分】

■消防職員・消防団員等の部

- A. 消防防災機器等の開発・改良
- B. 消防防災科学論文
- C. 消防職員における原因調査事例

■一般の部

- D. 消防防災機器等の開発・改良
- E. 消防防災科学論文



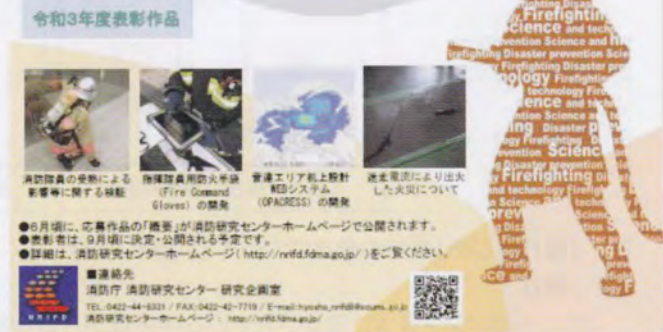
【応募受付期間】

令和4年4月1日(金) ~ 4月20日(水)
※4月20日(水)の消印有効

【表彰】

優れた作品には、11月に行われる表彰式(東京都内)において、消防庁長官より表彰状及び副賞を授与します。

表彰件数は次のとおりです。



●優秀賞

- ・消防職員・消防団員等の部
 - A. 消防防災機器等の開発・改良 5件以内
 - B. 消防防災科学論文 5件以内
 - C. 消防職員における原因調査事例 10件以内
- ・一般の部
 - D. 消防防災機器等の開発・改良 5件以内
 - E. 消防防災科学論文 5件以内

・6月頃に、応募作品の「概要」が消防研究センターホームページで公開されます。
・受賞作品は、9月頃に決定・公表される予定です。

●奨励賞

- 消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学論文及び原因調査事例 3件以内

問合わせ先
 消防庁消防研究センター 研究企画室
 TEL: 0422-44-8331 (代表)
 E-mail: hyosho_nrifd8@soumu.go.jp

全国消防操法大会操法実技の一部見直しについて

公益財団法人日本消防協会では、全国消防操法大会における操法実技については、いわゆるパフォーマンス的な、あるいはセレモニー的な動作の見直しをすることが適当であるという趣旨の意見を受け、「全国消防操法大会の操法実技に関する検討会」を設置して協議し、委員会での意見を基礎として検討した結果、全国消防操法大会操法実技の一部見直しについて令和4年1月19日付けで各都道府県消防協会長あて通知した。

見直しの概要、また、見直しの動画URLは次のとおりである。

この見直しは、本年10月29（土）に千葉県消防学校で開催される「第29回全国消防操法大会」から適用予定である。

1 見直し箇所について

(1) 「操作はじめ」までの動きについて（ポンプ車）

ア 現在

(ア) 車両後方に設定されている待機線から集合線に移動し、整列した後、「点呼」、「開始報告」、「想定付与」を行い、操法を開始する。(図1)

イ 見直し後

(ア) 隊員は待機線から集合線に移動し、整列するのではなく、指揮者は「車前の隊員を確認できる位置」に立ち、隊員は「車両横」(1・2番員は車両助手席側後部ドア、3・4番員は車両運転席側後部ドア)において「整列休め」の姿勢で待機する。(図2)

(イ) その状態で、指揮者の合図により、隊員を「基本の姿勢」にし、「点呼」を行う。指揮者は各隊員を確認した後、審査班長に対して「開始報告」を行う。その後、隊員に対し「想定付与」を行うとともに、乗車を命じ、各隊員は各自乗車する。指揮者も含め全員乗車後、指揮者は「操作始め」を命じる。

(ウ) 審査の対象は「操作始め」の号令からとする。

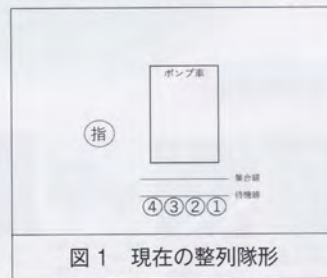


図1 現在の整列隊形

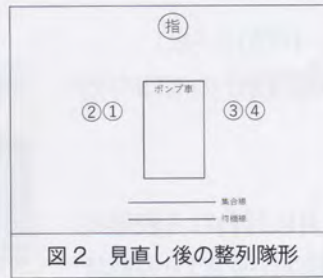


図2 見直し後の整列隊形

(2) 「操作はじめ」までの動きについて（小型ポンプ）

ア 現在

(ア) 小型ポンプ後方に設定されている待機線から集合線に移動し、整列した後、「点呼」、「開始報告」、「想定付与」を行い、操法を開始する。(図3)

イ 見直し後

(ア) 隊員は待機線から集合線に移動し、整列するのではなく、指揮者は小型ポンプ前の隊員を確認できる位置、隊員はそれぞれ定位において「整列休め」の姿勢で待機する。(図4)

(イ) その状態で、指揮者の合図により、隊員を「基本の姿勢」にし、「点呼」を行う。指揮者は各隊員を確認した後、審査班長に対して「開始報告」を行う。その後、隊員に対し「想定付与」を行うとともに、「操作始め」を命じる。

(ウ) 審査の対象は「操作始め」の号令からとする。

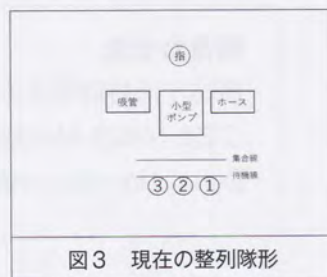


図3 現在の整列隊形

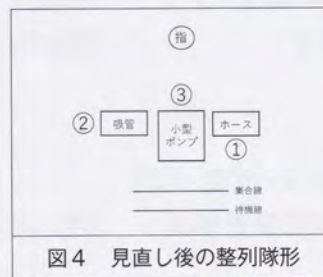


図4 見直し後の整列隊形

(3) 下車に伴うドアの開放要領について (ポンプ車)

ア 現在

車両のドアがない旧式のポンプ車を想定したまま、下車前に車両の扉を開放した状態としている。

イ 見直し後

下車前に車両のドアをわざわざ開放した状態にするのではなく、下車直前に必要最小限の動作でそれぞれ安全確認を行い、ドアを開放する。

(4) 2番員の注水補助について

ア 現在

ホースを上から掴むように抑えている。(図5)

イ 見直し後

(ア) ホースの保持は、筒先員の反対側1歩後方の位置において、右足を一步踏み出したまま、放水角度に影響を与えないように両手でホースを持ち、腰をやや落とした姿勢で注水補助を行う。(図6)

(イ) 標的を倒した後は標的の概ね1~3m程度上方に向けて放水するものとする。



図5 現在の注水補助要領



図6 見直し後の注水補助要領

(5) 服装点検について

ア 現在

操法開始前の整列及び操法終了後の整列の際に服装点検を行っており、その実施方法については、具体的な点検個所の指定がないまま、頭から足先までひとつひとつの厳重な点検を行っている。

イ 見直し後

服装点検の重要な意味が身体の異常や事故の有無の確認にあることを踏まえて、パフォーマンス的な動作を行うよりも、頭部、腹部、脚部等の要所の異常の有無に関する実質的な点検を行い、服装を整えるなどを行うこととする。また「点検」は操法開始前の待機位置において「点呼」により実質的に行うほか、操法終了後には、操法開始前と同様の立位置に戻った段階での動作として、指揮者が隊員に「点検報告」を指示し、各隊員が点検結果を申告した後、異常がなければ指揮者が審査班長に操法を終了した旨報告し、その後、指揮者は元の位置に戻って「わかれ」を指示する流れとする。

(6) 関連する審査方法の明確化

ア 現在

いわゆるパフォーマンス的な動作と見られがちなのは、動作を一斉化することで評価点数の向上を目指していると思われる動きがある。

イ 見直し後

現場活動の向上には効果が乏しい一斉化の動作や、より美しく見せるパフォーマンスについては、これを審査においてプラスに評価することはない旨、明確にする。

2 全国消防操法大会操作実技の一部見直し動画URL

- | | | |
|-------------|----------|---|
| (1) ポンプ車操法 | 乗車まで | https://youtu.be/j-QtTmYVTqk |
| (2) ポンプ車操法 | 下車 | https://youtu.be/UXr9aInhLuc |
| (3) ポンプ車操法 | 注水補助 | https://youtu.be/oNjsnR4POf0 |
| (4) ポンプ車操法 | 第2線延長はじめ | https://youtu.be/zAkZxKhcVH0 |
| (5) ポンプ車操法 | 収納・点検報告 | https://youtu.be/lzcz1EYfzJo |
| (6) 小型ポンプ操法 | 操作はじめまで | https://youtu.be/wbKU2GNiI2Y |
| (7) 小型ポンプ操法 | 収納・点検報告 | https://youtu.be/oyvxcMMnqJU |

※上記動画は、日本消防協会ホームページ及び千葉県消防協会ホームページからも御覧いただけます。

多年の労苦に輝く栄光

主な受章者の紹介

《春の叙勲 11 名》

(瑞宝小綬章)

元 千葉市消防局	消防司監	安川 光雄	元 習志野市消防本部	消防正監	土屋 恭司
元 山武郡市広域行政組合消防本部	消防正監	布留川富夫			

(瑞宝単光章)

元 千葉市消防団	団 長	原 久男	元 野田市消防団	副 団 長	渡邊 亮
元 佐倉市消防団	団 長	板倉 和雄	元 鴨川市消防団	副 団 長	松本 武志
元 長生郡市広域市町村圏組合消防団	副 団 長	市原 善一	元 山武市消防団	副 団 長	小川 益弘
元 松戸市消防団	副 団 長	榎本 道雄	元 四街道市消防団	分 団 長	麻生 豊

《秋の叙勲 11 名》

(瑞宝小綬章)

元 柏市消防局	消防正監	長谷川芳夫	元 市川市消防局	消防正監	古賀 正義
---------	------	-------	----------	------	-------

(瑞宝双光章)

元 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部	消防正監	鈴木 義信
----------------------	------	-------

(瑞宝単光章)

元 君津市消防団	団 長	前田 吉敬	元 南房総市消防団	副 団 長	安田 稔
元 四街道市消防団	分 団 長	井岡 敬則	元 鴨川市消防団	団 長	佐藤 則泰
元 長生郡市広域市町村圏組合消防団	副 団 長	若菜 文雄	元 習志野市消防団	団 長	三代川彦博
元 柏市消防団	副 団 長	柴谷 勝男	元 匝瑳市消防団	団 長	石田 進康

《第 36 回危険業務従事者叙勲 32 名》

(瑞宝双光章)

元 千葉市消防局	消防 監	荒井 良司	元 富津市消防本部	消防司令長	高島 弘光
元 千葉市消防局	消防 監	末吉 延孝	元 浦安市消防本部	消防司令長	齋藤 義行
元 千葉市消防局	消防 監	西川 渉	元 浦安市消防本部	消防司令長	鞠子 仁
元 木更津市消防本部	消防 監	篠田 清隆	元 四街道市消防本部	消防司令長	渡邊 秀樹
元 野田市消防本部	消防司令長	島村 誠	元 袖ヶ浦市消防本部	消防司令長	佐久間 実
元 成田市消防本部	消防司令長	齊藤三千男	元 山武郡市広域行政組合消防本部	消防 監	小倉 昇
元 成田市消防本部	消防 監	篠塚 直喜	元 香取広域市町村圏事務組合消防本部	消防 監	安藤 安夫
元 成田市消防本部	消防司令長	多田 正實	元 香取広域市町村圏事務組合消防本部	消防 監	大貫 勝美
元 成田市消防本部	消防 監	邊田 正美	元 印西地区消防組合消防本部	消防 監	後藤 良一
元 習志野市消防本部	消防 監	鈴木 春雄			
元 習志野市消防本部	消防 監	森田 義文			
元 柏市消防局	消防 監	鈴木 雅美			
元 市原市消防局	消防司令長	君塚 景市			
元 我孫子市消防本部	消防 監	篠原 佳治			
元 鎌ヶ谷市消防本部	消防 監	皆川 宏幸			
元 君津市消防本部	消防司令長	緒形 恵二			

(瑞宝单光章)

元 市川市消防局	消防司令長	能城 進	元 香取広域市町村圏事務組合消防本部		
元 野田市消防本部	消防司令長	飯田 正義		消防司令長	小山田 誠
元 柏市消防局	消防司令長	伊藤庄一郎	元 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部		
元 袖ヶ浦市消防本部	消防司令長	稲毛 俊昭		消防司令長	田中 静夫
元 富里市消防本部	消防司令長	渡邊 祥二			

《第37回危険業務従事者叙勲32名》

(瑞宝双光章)

元 我孫子市消防本部	消 防 監	豊嶋 昇	元 成田市消防本部	消 防 監	大木 智勝
元 木更津市消防本部	消 防 監	時田 啓美	元 山武郡市広域行政組合消防本部		
元 長生郡市広域市町村圏組合消防本部				消 防 監	古山 孝
	消 防 監	石井 弘和	元 流山市消防本部	消防司令長	秋谷 哲夫
元 流山市消防本部	消防司令長	清水 彰	元 成田市消防本部	消防司令長	根本 眞司
元 袖ヶ浦市消防本部	消防司令長	神子 秀男	元 木更津市消防本部	消防司令長	渡辺 賢一
元 香取広域市町村圏事務組合消防本部			元 袖ヶ浦市消防本部	消防司令長	小泉 啓一
	消 防 監	久保木純生	元 旭市消防本部	消防司令長	石橋 俊雄
元 長生郡市広域市町村圏組合消防本部			元 松戸市消防局	消防司令長	内田 俊紀
	消 防 監	伊丹 茂雄	元 我孫子市消防本部	消防司令長	齊藤 義光
元 成田市消防本部	消 防 監	多田 光夫			

(瑞宝单光章)

元 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部			元 銚子市消防本部	消 防 司 令	椎名 正
	消防司令長	紫関 静男	元 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部		
元 船橋市消防局	消防司令長	金子 昭		消 防 司 令	佐久間敏男
元 千葉市消防局	消 防 司 令	松戸 英機	元 習志野市消防本部	消防司令長	原 邦男
元 千葉市消防局	消 防 司 令	湯浅 徳男	元 旭市消防本部	消防司令長	秋田 清
元 千葉市消防局	消 防 司 令	中嶋 匡	元 市川市消防局	消防司令長	高橋 浩
元 成田市消防本部	消防司令長	小倉 誠一	元 柏市消防局	消防司令長	染谷 義幸
元 千葉市消防局	消 防 司 令	工藤 雅和	元 柏市消防局	消防司令長	白石田政彦
元 千葉市消防局	消 防 司 令	足立 照美			

《春の褒章4名》

(藍綬褒章)

千葉市消防団	副 団 長	窪田 博行	松戸市消防団	副 団 長	鈴木 伸一
市川市消防団	副 団 長	帆刈 隆一	野田市消防団	副 団 長	岩立 直人

《秋の褒章6名》

(藍綬褒章)

千葉市消防団	副 団 長	三山 正信	成田市消防団	副 団 長	渡邊 直樹
船橋市消防団	副 団 長	石井 洋明	我孫子市消防団	副 団 長	田口寿美雄

(紅綬褒章)

人命救助		佐藤 秀和
------	--	-------

(黄綬褒章)

秋葉 幹夫

《文化の日千葉県功労者表彰3名》

千葉市消防局	消 防 司 監	中村 由明	長生郡市危険物安全協会	会 長	安藤 順夫
いすみ市消防団	団 長	莊司 正博			

東 西 南 北

東 西
南 北

積極的な指導育成でハラスメントを防ぐ！

佐倉市八街市酒々井町消防組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合は、令和3年10月20日（水）、自衛隊千葉地方協力本部本部長大山康倫一等海佐を講師に迎え、「組織マネジメント（人材育成、ハラスメント対応）」について、管理職職員

38名を対象に研修を実施しました。

訓練時における指導とハラスメントの線引き、女性活躍、LGBTQへの対応等、組織が抱えている課題や個々の立場による意識改革について学び、指導する側の認識の統一化を図り、積極的な指導育成を可能とさせることにより、適切な指導をもって組織力向上を図っていきます。



都市型救助技術をスキルアップ！

柏市消防局

柏市消防局では、令和3年10月20日（水）、21日（木）に市内の急傾斜地で救助用支柱器具を用いた救助活動訓練を行いました。

3サイトを3小隊が順に実施し、現場状況に応じ樹木を支点に利用するなど、応用技術が求められる実践的な訓練となりました。

また、過酷な状況を特に経験している救助隊員ですが、急傾斜地での救出活動はあまり経験がなく、学びの多い訓練となりました。

本市消防局では、今後も様々な災害に対応するため、救助技術の向上に取り組みます。



防災訓練において高所からの救出訓練を実施

野田市消防本部

野田市消防本部では、令和3年10月22日（金）、防災訓練において、市役所本庁舎を利用した各部隊の連携救出訓練を実施しました。訓練では、市内で最大震度6強を観測する地震が発生し、庁舎窓ガラスの清掃作業員が、本庁舎7階付近で宙吊り状態になったとの想定の下、特別救助隊が都市型救助資器材を駆使し、地上約30mからの救出活動を実施しました。

また、訓練には市役所職員及び警察署員も参加し、大規模災害時における関係機関との連携要領を確認するなど、有意義な訓練となりました。



東 西 千 葉 県 警 察 本 部 及 び 第 三 管 区 海 上 保 安 本 部 と の 合 同 水 難 訓 練 を 実 施 南 北 千 葉 市 消 防 局

千葉市中央消防署では、令和3年10月25日（月）、4年間連続して水難事故が発生している千葉市美浜区の幕張の浜で、消防・警察・海上保安庁の三機関による合同水難訓練を実施しました。

本訓練は、令和2年8月に幕張の浜で発生した水難事故に際し、海上保安庁特殊救難隊と中央消防署特別救助隊が合同潜水捜索を行ったことを契機として実現したもので、海上では水上警察隊船舶「まき」と中央消防署臨港出張所船舶「臨港救難1」が連携し、水面救助活動、潜水活動補助を行い、水中では消防と海上保安庁の潜水隊員が合同潜水捜索を実施することで、各機関との連携強化が図られました。



【訓練の様子】

東 西 我 孫 子 市 消 防 団 初 任 訓 練 を 実 施 南 北 我 孫 子 市 消 防 団

我孫子市消防団は、令和3年10月31日（日）、入団から5年目までの団員を対象に消防団初任訓練を実施しました。

この訓練は、消防団員として基本的な技術・知識の習得を図り、消防団の必要性、責務を再認識し、各種災害において安全、確実及び迅速に活動することを目的として初任団員の訓練を実施したものです。

訓練当日は、市内にある五本松運動広場にて、規律訓練を始め、資機材取扱い訓練、放水訓練、携帯無線機取扱い訓練、水防基本訓練、応急救護訓練の各ブースに分かれ、班ごとに交代で訓練を実施しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、初任団員を集めた訓練を実施できておりませんでした。市内の感染状況が改善傾向にあることなども踏まえ、感染症対策を徹底して行い本訓練を実施することができ、大変有意義な訓練となりました。

今後も、計画的に訓練を実施し、市内で発生する災害に迅速な対応ができるよう努めてまいります。



【放水訓練】

【資機材取扱い訓練】

東 西 水 難 救 助 隊 、 特 別 救 助 隊 救 出 合 同 訓 練 南 北 野 田 市 消 防 本 部

野田市消防本部では、令和3年11月5日（金）、利根川において、車両が誤って河川に転落したことを想定した各隊合同救出訓練を実施しました。

訓練は指揮隊が統括した中で、災害用ドローン2機の迅速な飛行による状況確認、水難救助隊は潜水活動し水没車両からの要救助者確保、そして、ロープレスキュー資器材を活かした特別救助隊による橋上への引揚げ救出までの連携訓練を実施しました。各隊の連携には無線等による情報共有の重要性を感じた合同訓練となりました。



東 西 北 巨大横断幕及び立て看板を作成!!

東 南 松戸市消防局

令和3年秋季火災予防運動で、松戸市消防局東部消防署では「火災予防運動実施中」の巨大横断幕（縦1.5メートル、横7メートル）及び「救急車適正利用」の立て看板（縦4メートル、横1.2メートル）を掲出しました。

この巨大横断幕及び立て看板は、松戸市防火・防災協会東部支部から御支援いただき設置することができました。

東部消防署では、これらを活用し積極的な広報を行うことで、火災予防及び救急車の適正利用を促進します。

松戸市防火・防災協会東部支部の会員の皆様には、日頃から消防行政において多大なるお力添えをいただいております。今後も協力して防火防災意識を普及していきたいと考えています。



東 西 北 迫力の演習を動画で

東 南 千葉市消防局

千葉市花見川消防署では、火災予防運動の一環として、秋季消防演習の訓練動画をYouTubeに投稿しました。

消防署敷地内の訓練施設で、消防隊、救助隊、はしご車隊、航空隊との連携総合訓練を実施しました。

訓練では、実際に発煙筒やスモークマシンで煙を発生させ、はしご車で炎上中の高層建物に見立てた訓練塔からの要救助者の救出、火花散るエンジンカッター、一斉放水など、実災害を想定した訓練を撮影しました。

動画撮影は、ウェアラブルカメラなどを使用して、普段見ることができない消防隊員や要救助者視点で撮影することで臨場感溢れる動画に仕上げました。

花見川消防署員一同で送る秋季消防演習をぜひご覧ください!

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=VDWeIUrYrKY>



東 西 北 全国秋季火災予防運動で市内小学生を一日消防署長に!

東 南 野田市消防本部

野田市消防本部では、全国秋季火災予防運動に合わせ、野田市防火ポスター展で最優秀賞を受賞した市内小学6年生、山野井和奏さんに一日消防署長を委嘱し、市役所で防火放送や啓発品の配布、火災予防の呼びかけなど広報活動を行っていただきました。

一日消防署長を務めた山野井さんは「寒くなり、ストーブなどを使用する機会が増えるので、火の取扱いに気をつけてほしいという思いで呼びかけました」と語られ、啓発品を手渡された市民の方から「可愛い消防署長さんね」などの声が上がっていました。



東 西 南 北 美浜消防署秋季消防演習を実施しました

千葉県消防局

千葉県美浜消防署では、令和3年11月10日（水）千葉県美浜保健福祉センター・美浜文化ホールにて秋季消防演習を実施しました。

地震により施設の一部が倒壊するとともに、火災が起き多くの負傷者が発生した想定で、消防機関と自衛消防隊が総合的な消防活動を展開することにより、防火防災意識の高揚及び関係機関との連携強化を図ることを目的に実施したものです。

自衛消防隊による119番通報訓練、初期消火活動及び消防職団員による、消火・救出・救護に係る一連の活動を行いました。

本演習の様子をYouTubeに配信していますので是非ご覧ください！

<https://www.youtube.com/watch?v=NQoGcF8NINU>



東 西 南 北 「4市合同消防活動錬成会」を行いました

～習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市・船橋市の各消防(局)本部が参加～

船橋市消防局

令和3年11月10日（水）、船橋市消防訓練センターに隣接する3市消防本部と消防活動を披露する、「4市合同消防活動錬成会」を実施しました。

本事業は初めて実施する試みであり「職員間の交流」、「消防活動技術の向上」及び「隣接市との連携」を目的に、現場活動に即した活動を互いに披露し、評価するものとなっております。

今年度は、習志野市1隊、八千代市2隊、鎌ヶ谷市3隊、船橋市4隊の計10隊、合計49人の消防隊員が訓練に参加しました。

この訓練では、木造建築物からの出火を想定し、現場到着から放水開始、火災室への屋内進入及び人命検索など火災室にて実際に濃煙を発生させ実施しました。

今後も参加各市と連携を深め、更なる技術の向上に努めてまいります。



東 西 南 北 令和3年度火災予防ポスター展表彰式を開催

佐倉市八街市酒々井町消防組合

当消防組合では、令和3年11月11日（木）に火災予防ポスター展表彰式を消防本部にて開催しました。

火災予防ポスター展は毎年佐倉防火安全協会の協賛により、火災予防の普及を図るため、組合管内の小学生に火災予防に関するポスターの募集を行い、小学校30校から507点の作品の応募があり、その中から7点の作品が特別賞に選ばれました。

令和3年度 火災予防ポスター展表彰式



消防長賞



最優秀賞



協会長賞



佐倉消防署長賞



志津消防署長賞



八街消防署長賞



酒々井消防署長賞